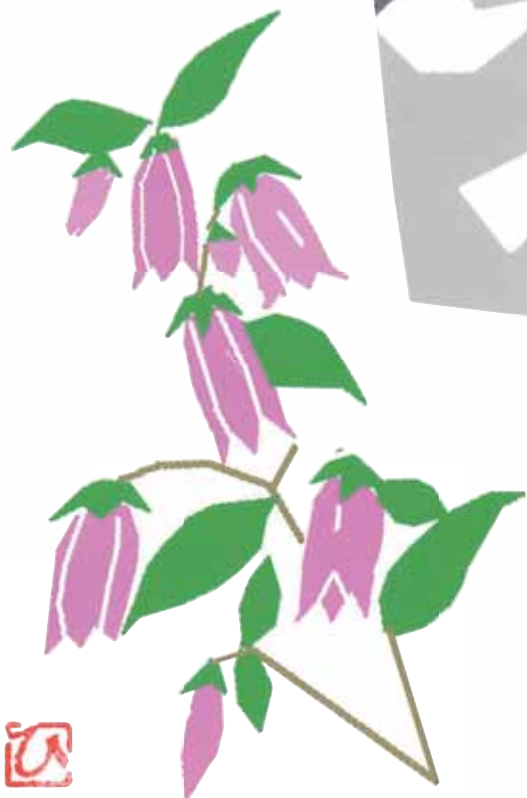


大阪作業療法 ジャーナル

Journal of the Osaka
Occupational Therapy Association : **JOOTA**

特集 高次脳機能-基礎から実践



Vol. 27 No. 1
Jul. 2013

OT
SAKA

(一社)大阪府作業療法士会

大阪作業療法ジャーナル

第27巻 第1号

巻頭言	山下 協子 …………… 1
特集：高次脳機能障害 — 基礎から実践	
高次脳機能障害の診断と治療 — クリニックの14年間にわたる経験から —	山口研一郎 …………… 2
高次脳機能障害に対する作業療法	酒井 浩 …………… 6
高次脳機能障害への挑戦	山河 正裕 …………… 22
中枢神経障害に対する Árnadóttir OT-ADL Neurobehavioral Evaluation (Árnadóttir OT-ADL 神経行動学的評価法) を用いた ADL 評価の紹介と1事例にみるこの方法の有効性	松原 麻子 …………… 27
大阪府における「高次脳機能障がい支援普及」の取り組み	池埜 弥生 …………… 32
知っていますか？	
生活行為向上マネジメント	眞銅 恵 …………… 37
となりの街の作業療法士	
中途障害者の社会参加を目指した福祉のリハビリテーション	川村 明代 …………… 43
児童福祉法の改正に伴う OT としての役割の変化 ～医療と福祉の現場で～	岩田 瑞穂 …………… 49
書評	
豊かに考え抜く	中西 英一 …………… 52
府士会	
統合失調症者の観察式の認知遂行機能尺度の信頼性妥当性の検討	精神科認知・遂行機能研究会 …………… 56
2012(平成24)年度(社)大阪府作業療法士会会員統計資料	(一社)大阪府作業療法士会 庶務部 情報係 …………… 57
第47回日本作業療法学会 ご報告	長辻 永喜 …………… 64
投稿規定 ……………	66
執筆規定 ……………	68
編集後記・部員名簿 ……………	70

編集後記

夏真っ盛りです。全国学会も終わり、約1ヶ月が経ちます。学会運営に関わった方も、日常業務でやり残した仕事も一段落している頃かと思います。みなさんの中にはそろそろ落ち着いて何か勉強をしようと思っている方もいらっしゃるでしょう。今回のテーマである『高次機能障害』は脳に障害がある方に携わっている者にとっては永遠のテーマであり、患っている方にとっては社会復帰をする上で弊害になっている一因子でしょう。まず、この機関誌から取っ掛けとされてはいかがでしょうか。とは言え、世間は夏休みの計画を耳にすることも多いはず、特に今年は世界遺産に富士山が登録されて登山ブームは更に拍車がかかることが予想されます。私も学生時代から山登りを初め、30年。最近では四季に関係なく年に5回から7回北アルプスに訪れることが多く、今年もすでに3回登っています(予定では7月下旬に西鎌から槍ヶ岳)。こんなことを考えているとまた勉強がおろそかになりそうです。いやいや、読みますよ。まず、この機関誌は。 (加藤)

部員名簿

巽 絵理 代表	関西福祉科学大学	橋本 弘子 広報	藍野大学
黒澤 淳二 副代表	南大阪小児リハビリテーション病院	橋本 晋吾 広報	関西医科大学附属枚方病院
福島 洋祐 代表補佐・会計	南大阪小児リハビリテーション病院	西川 智子 査読	大阪府立大学
林 理恵 会計補佐	協和会病院	中西 英一 査読	藍野大学
古原 将馬 会計	関西医科大学附属滝井病院	蓬萊谷耕士 査読	大阪医科大学附属病院
山田ゆかり 書記	南大阪小児リハビリテーション病院	加藤 敏一 査読	星ヶ丘厚生年金病院
中村 孝志 書記	河内総合病院	吉田 文 担当理事	大阪保健医療大学

大阪作業療法ジャーナル 第27巻 第1号

発行人：長辻 永喜

(一社)大阪府作業療法士会

〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-5-6

サンプラザ寺田町駅前ビル701A

TEL：06-6772-6763 FAX：06-4305-6699

URL：http://osaka-ot.jp E-mail：jimu@osaka-ot.jp

出版：(株)セカンド  学術集会専門出版社
株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

